

回答 印は平成18年3月12日実施の第1回姫路観光文化検定試験(3級)の問題です  
表現は一部変更しています。

## 1: 姫路の歴史について

- 【1】
- 【2】 解説: 御国野町の「檀場山古墳」
- 【3】 解説: 播磨、常陸、出雲、肥前、豊後の五か国
- 【4】
- 【5】
- 【6】 解説: 日女道丘、船丘、波丘、琴神丘、箱丘、犬丘 など 14の丘
- 【7】 解説: 赤松則村 貞範は則村の次男
- 【8】
- 【9】 解説: この乱で赤松氏は没落
- 【10】 解説: 赤松氏再興。家臣の浦上氏に圧迫され、次第に勢力を失う
- 【11】 解説: 将軍本多秀忠の娘が千姫
- 【12】 解説: 姫路県が生まれた1週間後に飾磨県に改称(嫌がらせ?)
- 【13】 解説: 姫路県が生まれた1週間後に飾磨県に改称(嫌がらせ?)
- 【14】 解説: 明治21年に市町村制度が公布、翌年市制の第一歩を踏み出す
- 【15】 解説: 24,958人
- 【16】 解説: 4,815戸
- 【17】 解説: 3.03 km<sup>2</sup>
- 【18】 解説: 福中町
- 【19】 解説: 現 姫路西高
- 【20】 解説: 鉄道の開通は 明治21年 日本製鐵広畑工場操業は 昭和14年  
姫路商業会議所の発足は 大正11年 姫路市発足は 明治22年

## 2: 世界文化遺産・姫路城について

- 【1】
- 【2】 解説: 平成5年12月(1993年) 第17回世界遺産委員会カルタヘナ会議
- 【3】 解説: 法隆寺地域の仏教建造物 屋久島と白神山地は自然遺産
- 【4】 解説: 備前丸まで45.5m、石垣が14.8m、建物が31.5m 海拔91.8m
- 【5】 解説: 石垣が14.8m、建物が31.5m
- 【6】 解説: 五重六階 地下1階付
- 【7】 解説: 白漆喰総塗籠の白亜の姿
- 【8】
- 【9】
- 【10】 解説: 三葉立葵文は本多氏、三巴文は松平氏、源氏車文は榊原氏
- 【11】 解説: 姫路城白主は 赤松氏、小寺氏、山名氏、八代氏、黒田氏、羽柴氏、  
木下氏、池田氏、本多氏、松平氏、榊原氏、酒井氏
- 【12】 解説: 平成5年 千姫ぼたん園として整備
- 【13】
- 【14】 解説: 落札者の権利廃棄の後、明治12年保存が決定
- 【15】 解説: 総工費5億5千万円、従事者延べ25万人。昭和31年から39年
- 【16】 解説: 総工費5億5千万円、従事者延べ25万人。昭和31年から39年
- 【17】 解説: 現在は内曲輪の265だけが残っている。
- 【18】 解説: 砂と粘土とモチ米の汁で練り固めてつくった土堀。  
水をはじき、鉄砲の弾丸もはじき返すほどの頑丈さ
- 【19】 解説: 播磨、淡路、備前 三カ国から集めた。1400平方メートルの濠
- 【20】 解説: シャチは想像上の怪獣。水を吹くところから防火のまじない

- 【21】 解説：大小11の鯨瓦を飾っている
- 【22】
- 【23】 解説：商売道具の石臼
- 【24】 解説：武者落しともいう
- 【25】
- 【26】
- 【27】 解説：東南の方向に傾いているという批判を聞いたため
- 【28】
- 【29】
- 【30】

### 3：姫路の神社について

- 【1】 解説：射楯兵主神社は2座 計4座
- 【2】
- 【3】 解説：神社の北西に広がっていた沖浜塩田が開発されるまでの経過を説明
- 【4】
- 【5】
- 【6】
- 【7】 解説：現在の地 蛤山
- 【8】
- 【9】
- 【10】 解説：境内の井戸水で目を洗い、百度石を巡りながら治癒祈願する習わしがあった
- 【11】
- 【12】 解説：8月15日の奉点灯祭
- 【13】 解説：境内北西の一角に寸翁神社がある
- 【14】
- 【15】

### 4：姫路の寺院について

- 【1】
- 【2】
- 【3】
- 【4】
- 【5】 解説：中谷を代表する建物。京都の清水寺と同じ掛造り（舞台造り）
- 【6】 解説：持国天、多聞天、増長天、広目天の四天王
- 【7】 解説：金輪院
- 【8】
- 【9】
- 【10】
- 【11】
- 【12】
- 【13】 解説：15間（約40m）
- 【14】 解説：弁慶の鏡池もある
- 【15】
- 【16】
- 【17】
- 【18】
- 【19】
- 【20】

- 【21】
- 【22】
- 【23】
- 【24】
- 【25】
- 【26】
- 【27】
- 【28】
- 【29】
- 【30】

解説：忠学の正室で家斉の娘喜代姫。その娘喜曾姫。忠績の正室・婉姫の3人  
 解説：花と緑の寺  
 解説：4月3・4日。直径36センチ、重さ3キロの大茶碗。

## 5：姫路の祭り歳時記について

- 【1】 解説：天神地祇祭。もともと不定期だったが、平均するとほぼ61年目ごと。
- 【2】
- 【3】 解説：昭和62年（1987年）。次回は2047年の予定。
- 【4】 解説：平成5年（1993年）。次回は2013年の予定。
- 【5】 解説：文永4年（1267年）6月11日。
- 【6】 解説：高さ16メートル、直径10メートル。
- 【7】
- 【8】 解説：赤、黄、緑、紫、白の5色
- 【9】
- 【10】
- 【11】 解説：6台の屋台が狭い境内で小芋を洗うように練ることから。
- 【12】
- 【13】
- 【14】
- 【15】 解説：妻鹿、松原、中村、宇佐崎、木場、八家、東山
- 【16】 解説：巴紋＝各所、龍紋＝宇佐崎、鯛紋＝田井、大丸紋＝大江島
- 【17】 解説：10月14・15日。大塩天満宮の例祭も同じ日。
- 【18】
- 【19】
- 【20】 解説：獅子の特徴は、全身が黒か茶色の毛、胸が白色の毛。8頭
- 【21】 解説：一連の行事に穂揃式、走馬式が行われる。
- 【22】
- 【23】 解説：昭和22年（1947年）4月。その後5月、8月に変更。
- 【24】 解説：8月9日、慶雲寺周辺で行われる。
- 【25】 解説：7月10・11日。釜の湯を熊笹で撒き、疫病や災いを退散させる。
- 【26】 解説：12月8日。針塚で献針儀式、裁縫、手芸の上達を祈願する。
- 【27】 解説：1月1日。大晦日から泊り込んだ子供たちが拝殿前で地つきの儀式をする。
- 【28】 解説：11月15日。男子氏子が運勢を占い幸福を祈る。
- 【29】 解説：解説：4月3・4日。直径36センチ、重さ3キロの大茶碗。
- 【30】 解説：奉天灯祭が行われるのは、破磐神社。
- 【31】
- 【32】 解説：植木市、金魚すくいなど夜店がならび「網干のゆかた祭り」ともいう。

## 6：姫路の四季の味覚について

- 【1】
- 【2】
- 【3】

- 【4】 解説：「きぬた」は銘菓。
- 【5】
- 【6】
- 【7】
- 【8】 解説：古くから酒米として利用されてきた品種「山田穂」を交配、品種改良。
- 【9】
- 【10】

#### 7：姫路の伝統工芸について

- 【1】
- 【2】
- 【3】 解説：現在当主は5 2代目。
- 【4】
- 【5】

#### 8：姫路の人物往来について

- 【1】
- 【2】
- 【3】
- 【4】
- 【5】
- 【6】

#### 9：姫路の方言について

- 【1】
- 【2】
- 【3】
- 【4】
- 【5】

#### 10：姫路の地名について

- 【1】 解説：鋳物師町はある。
- 【2】 解説：8町ずつ、11の門を構えた。明治22年市制誕生当時は108町。
- 【3】
- 【4】
- 【5】
- 【6】 解説：伽屋町（とぎやまち）

#### 11：映像のなかの姫路について

- 【1】 解説：姫路フィルムコミッション（FC）
- 【2】
- 【3】
- 【4】 解説：E・ズウィック 日本歴史通
- 【5】 解説：極真空手を創始した、大山倍達を題材。
- 【6】
- 【7】 解説：フジTV「笑う犬の発見」
- 【8】

#### 12：姫路の観光散策について

- 【 1 】
- 【 2 】
- 【 3 】
- 【 4 】
- 【 5 】
- 【 6 】
- 【 7 】
- 【 8 】
- 【 9 】
- 【10】
- 【11】

解説：26.75メートル。不戦の誓いを込め、剣を地中に埋めた形のモニュメント  
 解説：被災113都市の地図と空爆死没者ぼ霊(51万541柱)を表示している。

解説：約1500種、2万5千株  
 解説：現在は公民館に使用されている。

13：新市域を訪ねてについて

- 【 1 】
- 【 2 】
- 【 3 】
- 【 4 】
- 【 5 】
- 【 6 】
- 【 7 】
- 【 8 】
- 【 9 】
- 【10】
- 【11】
- 【12】
- 【13】
- 【14】
- 【15】
- 【16】
- 【17】
- 【18】
- 【19】
- 【20】

解説：家島町、夢前町、香寺町、安富町 の4町

解説：大山遺跡(男鹿島)

解説：間浦古郭(家島本島)、天満霊樹(家島本島)、監館眺望(家島本島)、  
 白鬚霊祠(家島本島)、宮浦夜泊(家島本島)、赤坂清水・桜谷雪景(家島本島)、  
 観音先崎月(家島本島)、坊勢寺跡(坊勢島)、淡賀楯崎(坊勢島)、  
 松島野馬(西島)

〃

解説：岩肌も粗く、険しいことで播磨の大峰山と呼ばれ、修験者の道場。

解説：標高668m

解説：1千を越す品種

解説：3千株

解説：世界145カ国、8万点余りを所蔵。

解説：竹林に囲まれた露天風呂など8種の湯。

解説：屋内には“万年無災の亀石”をまつる亀石堂が置かれている。

解説：円墳は塩野古墳。

解説：一番上部が鹿の寝姿に似ていることから名付けられた。

14：資料編について

- 【 1 】
- 【 2 】
- 【 3 】
- 【 4 】
- 【 5 】
- 【 6 】
- 【 7 】
- 【 8 】
- 【 9 】

解説：飾磨、広畑、網干、大津、勝原、余部 6区

〃

解説：7百万4千人

解説： 姫路大博覧会開催 = 昭和 41 年	姫路動物園開園 = 昭和 26 年
大手前通り開通 = 昭和 30 年	姫路城昭和の大修理完成 = 昭和 39 年
解説： 赤穂浪士討ち入り = 1702 年	本多忠政姫路城に入る = 1617 年
お夏清十郎発刊 = 1686 年	宮本武蔵巖流島の決闘 = 1612 年

？

【10】 解説：10月、次いで11月、5月が多い。

【11】